

プレスリリース



2015 年 9 月 7 日

**世界注目のモータースポーツ、FPV ドローンレース日本初上陸！
本格的屋外ドローンレース「Drone Impact Challenge 2015」
2015 年 9 月上旬から参加募集開始**

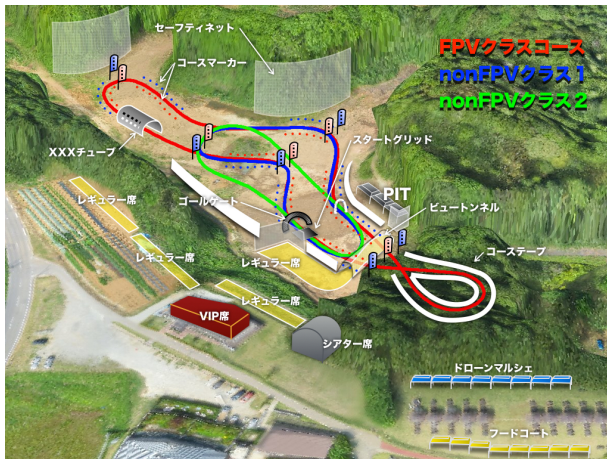


ドローンインパクトチャレンジ実行委員会は、「Drone Impact Challenge 2015（ドローンインパクトチャレンジ 2015）」において、世界で注目を集めている新たなモータースポーツ、FPV ドローンレースを今年 11 月 7 日（土）に千葉県香取市の THE FARM（ザファーム）にて日本初開催します。

本日、9 月上旬から「ドローンインパクトチャレンジ」のオフィシャルサイトにて観戦チケットの受付募集、パイロットとしての参戦受付募集を開始します。一般の方が市販のドローンで屋外レースに参加できるレギュラークラスも用意しています。詳細は、オフィシャルサイトをご覧ください。

<http://dichallenge.org/>

会場イメージ



ドローンインパクトチャレンジとは

ドローンテクノロジーによって、社会創造に貢献することを念頭に、2015 年 4 月にドローンインパクトチャレンジ実行委員会を発足しました。

よりよい社会創造を後押しするために、「ドローンの可能性を、みんなの手で広げる場」として、ドローンコミュニティの育成と健全なドローン社会の実現を目指します。

FPV ドローンレースとは

世界最高のレースパイロットたちが、高速で機動性に優れたレース専用のドローンを使用し、FPV（一人称視点：First Person View）にて、ドローンに搭載したカメラからの映像をリアルタイムにヘッドマウントディスプレイ等で受信して操縦します。高さ 5m ほどのパイロンやフラッグで構成する低空中コースを、最高時速 100km の中、操縦技術、判断力、体力、そして精神力の限りを尽くして、3 次元で技の正確さと速さを競うトーナメントおよびタイムトライアル競技です。日本では、FPV ドローンを操縦するためには、アマチュア無線免許が必要となっています。

今年 2015 年 7 月、米国でも大規模なドローンレース大会が開催され、そしてこの度、多くの支援者の協力を得て日本での初開催が実現しました。「ドローンインパクトチャレンジ 2015」は、一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会（JUIDA）、国内最大級ドローンカンパニー自律制御システム研究所、ミニサーベイヤーコンソーシアムの協力のご支援をいただいております。

開催概要

名 称： Drone Impact Challenge 2015（ドローンインパクトチャレンジ 2015）

日 程： 2015 年 11 月 7 日（土）予選、決勝 ※雨天決行、荒天中止

会 場： THE FARM（千葉県香取市）

内 容： FPV ドローンレース世界選手権、一般向けドローンレース、防災ドローンの利活用エキ
シベーション、ドローン販売会、ドローン体験会

主 催： ドローンインパクトチャレンジ 実行委員会

協 力： 一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会（JUIDA）、株式会社自律制御システム研究所、
ミニサーベイヤークンソーシアム

オフィシャルサイト：<http://dichallenge.org/>

お問い合わせ先：ドローンインパクトチャレンジ実行委員会 広報担当 info@dichallenge.org